

## ■ 音の印象 ■

これまでヨルマ・デザインにフォノケーブルが存在しなかったのが不思議なくらいである。きっと相性はいいはずだから。最近では通常のインターコネクトケーブルが使用できるトーンアームもよくあるので、特に必要ないと言えはそれまでだが、本当にそうなのか？それを確かめられる日が遂に来てしまった。

同じトーンアームでRCA端子仕様のものでDIN端子仕様のもので比較試聴。同価格帯のヨルマ・デザインのインターコネクトケーブルを使ってみる。それ以外は同条件。インターコネクトケーブルはいつものヨルマの音だ。自然で音楽性がよく出ている。当然不満はない。今まで経験してきたフォノケーブルより情報量も多く、空間性も申し分ない。よって、特段フォノケーブルの必要性は感じられない。そして、このヨルマ・フォノで聴いてみる。まさかである。極上のアナログ世界が浮かび上がってきた。今まで感じられなかったレベルの微細な音楽の動きやアトモスフィアが伝わってくる。明らかにヨルマ・フォノの方がレコード再生音における心地良さが増している。何故？構造の違い？精度？アース線？導体純度？何れにせよアナログレコードの再生に特化した設計のケーブルであることは間違いない。餅は餅屋ということなのであろうか。今さらだが、トーンアームにはやはりフォノケーブルが相応しいという結論に至ってしまう。



Photo: JORMA PHONO REFERENCE DIN-RCA

そしてこのヨルマ・フォノは我々をアナログ再生の未体験領域に導いてくれたのである。まだ、レコードの中には我々の知らなかった情報が入っていたのか。

正確に言うならば、トーンアームが抽出していた情報を増幅回路まで辿り着く間に取りこぼしがあったとなるのだろう。そんなことは言うにヨルマ・デザインはわかっていたのだ。そして、完成しないかも知れないフォノケーブルの開発を諦めずに続けた。なぜなら、インターコネクトケーブルをフォノケーブルに代用する上で何らかの問題を発見してしまったからだ。問題は解くことも大事だが、発見することはもっと大事だとある数学者は言った。

レコードから抽出する音楽信号は微弱である。更にアームの内部配線材は繊細だ。それを如何に変調させずに増幅回路まで伝えるか。

ヨルマ・デザインの求めるレベルに到達するには既成技術では不可能だったという。しかし、妥協したフォノケーブルを世に送り出すようなことは決してしない。それが今までフォノケーブルがヨルマ・デザインのラインナップに存在しなかった理由である。そして、技術者は言った。今ようやく、ヨルマ・デザインがフォノケーブルをリリースするに値する条件が揃った、と。

## JORMA PHONO REFERENCE — アナログ世界の未知なる領域へ新たなる一歩

### ■ 設計/構造 ■

「JORMA PHONO (ヨルマ・フォノ)」シリーズは、5ピンコネクタ仕様仕様のトーンアームに最適なパートナーとして開発されました。その設計において「ヨルマ・フォノ・リファレンス」はヨルマ・ステイトメントのインターコネクトと同様の薄いスレッドを有し、ほぼ同様の導体が採用されています。これには数年の開発期間を要し、つい最近まで製造不可能とされていた精度（直径0.05mmの精密な銅糸群）及び純度（9N銅）に到達することができました。コンダクターはどのように曲げられても高度な真円度を保つよう、ヨルマ・デザイン特有のファイバー・セラミック・ファイバー集合体の周りに導体チューブ構造を形成しています。誘電体には高純度のポリテトラフルオロエチレン/PTFE（誘電率が低く、絶縁性がある）被膜を採用し、安定した絶縁性能の確保を実現しました。スタビライザーにはポリオキシメチレン/POM（エンブラの一種で耐摩耗性に優れる）を採用し、効果的に不要な振動を抑制します。更にこの新開発の薄い導体は、極小の5ピンコネクタに完璧に適合し、極めて優れた完成度を誇るフォノケーブルに仕上がりました。

### JORMA PHONO REFERENCE SPECIFICATIONS

JORMA PHONO REFERENCE 共通事項			スタビライザー材質: ポリオキシメチレン(POM)を採用
誘電体	無色高純度 ポリテトラフルオロエチレン(PTFE)	クリンピング・スリーブ材質	ポリオレフィン
導体材質	純度 9N銅 (酸素及び他の不純物を除去)	シールド材質	錫メッキ銅
導体構造	セラミック・ファイバーを芯にした多芯線構造	メッシュ材質	ポリエチレン (PET)

### JORMA PHONO REFERENCE DIN RCA フォノケーブル

コンダクター数	2 (+, -) x 1pc. (1チャンネルにつき)
コンダクター断面積	2 (+, -) x 0.35mm <sup>2</sup> (1チャンネルにつき)
シールド断面積	2mm <sup>2</sup> , RFIとEMIシールド率約95%
コネクタ材質	純銀

### JORMA PHONO REFERENCE DIN XLR フォノケーブル

コンダクター数	3 (+, -, GND) x 1pc. (1チャンネルにつき)
コンダクター断面積	3 (+, -, GND) x 0.35mm <sup>2</sup> (1チャンネルにつき)
シールド断面積	2mm <sup>2</sup> , RFIとEMIシールド率約95%
コネクタ材質	金メッキ真鍮

※5PIN DIN コネクタはストレート・タイプを標準とします。L字タイプをご希望の場合、特注にて承ります。



Photo: JORMA PHONO REFERENCE DIN-XLR



Photo: JORMA PHONO REFERENCE DIN-RCA

## JORMA PHONO ONE — 常に正しい音を出す

### ■ 設計/構造 ■

ハイエンドのターンテーブルを使用する場合、「JORMA PHONO (ヨルマ・フォノ)」シリーズは、システムが必要とするレベルの忠実性を的確に提供するリファレンスケーブルです。5ピンコネクタを備えたトーンアームの完璧なパートナーであるヨルマ・フォノ・リファレンスには、ヨルマ・ステイトメントのインターコネクトケーブルに相当する導体と同系の細いスレッドが採用されています。そして、ヨルマ・フォノ・ワンには、ヨルマ・オリゴのインターコネクトケーブルに相当する導体と同系の細いスレッドが採用されています。

フラッグシップモデルのヨルマ・フォノ・リファレンスを一聴するとターンテーブルとの接続がいかにか完璧であるかを感じ取ることができます。そして、このヨルマ・フォノ・ワンは、その技術を簡素化し、ヨルマ・フォノ・リファレンスに近い性能をよりお手頃な価格で提供します。

### JORMA PHONO ONE SPECIFICATIONS

JORMA PHONO ONE 共通事項			スタビライザー材質: ポリオキシメチレン(POM)を採用
誘電体	無色高純度 ポリテトラフルオロエチレン(PTFE)	クリンピング・スリーブ材質	ポリオレフィン
導体材質	純度 8N銅 (酸素及び他の不純物を除去)	シールド材質	錫メッキ銅
導体構造	セラミック・ファイバーを芯にした多芯線構造	メッシュ材質	ポリエチレン (PET)

### JORMA PHONO ONE DIN RCA フォノケーブル

コンダクター数	2 (+, -) x 1pc. (1チャンネルにつき)
コンダクター断面積	2 (+, -) x 0.5mm <sup>2</sup> (1チャンネルにつき)
シールド断面積	2mm <sup>2</sup> , RFIとEMIシールド率約95%
コネクタ材質	金メッキ銅

### JORMA PHONO ONE DIN XLR フォノケーブル

コンダクター数	3 (+, -, GND) x 1pc. (1チャンネルにつき)
コンダクター断面積	3 (+, -, GND) x 0.5mm <sup>2</sup> (1チャンネルにつき)
シールド断面積	2mm <sup>2</sup> , RFIとEMIシールド率約95%
コネクタ材質	金メッキ真鍮

※5PIN DIN コネクタはストレート・タイプを標準とします。L字タイプをご希望の場合、特注にて承ります。



Photo: JORMA PHONO ONE DIN-RCA



Photo: PHONO共通 5PIN DIN 端子